

R241(音更大通)通信

より利用しやすく安全な道に

このニュースレターは、「国道241号(音更大通)に係る交通課題検討のための懇談会」の検討内容を地域の皆様にお知らせするものです。

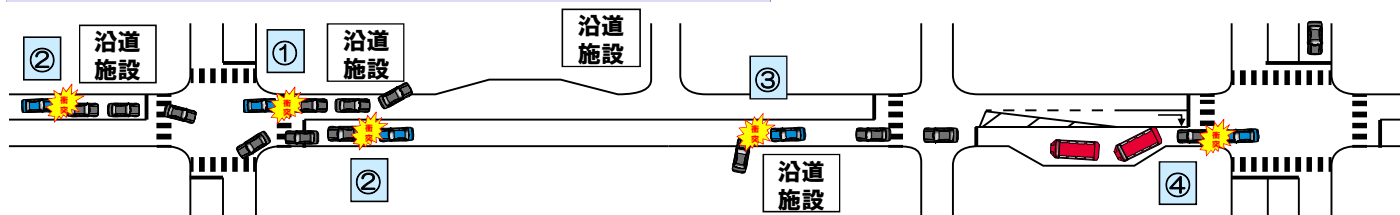
第8回懇談会

平成27年4月21日に第8回懇談会を開催しました。第7回懇談会(平成26年11月11日)に議論した「安全性・円滑性の検証結果」と「今後の対策検討の方向性」を踏まえ、音更大通における具体的対策の内容について、意見交換を行いました。



■安全性・円滑性の阻害要因

◆音更大通の代表的な交通事故の発生原因



	事故原因	主な事故内容
①	沿道施設へ入る車両の減速による速度差	追突事故
②	交差点での右左折車両の減速による速度差	追突事故
③	沿道施設から出る車両	出合頭事故
④	停車するバスの速度低下による速度差	追突事故

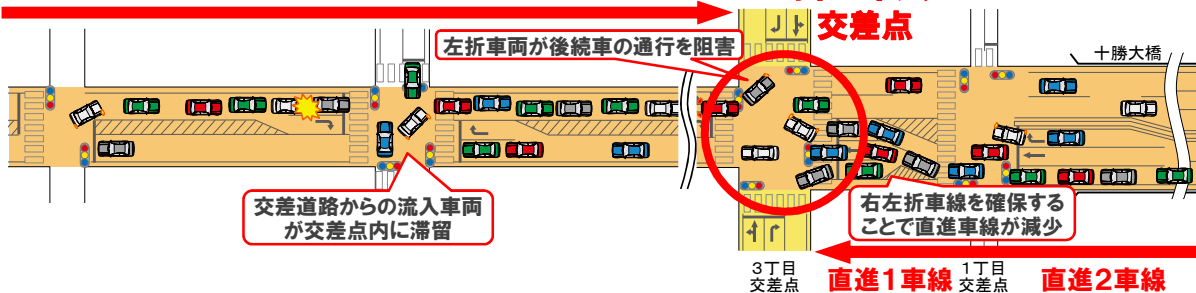
同一の車線内に、右左折車、直進車、流入車が混在!

車両速度差が発生しやすく、追突事故等が多発

◆3丁目交差点での円滑性阻害状況(朝・夕混雑時)

朝 3丁目交差点を先頭とした渋滞(最大1400m:至12丁目交差点)

ボトルネック交差点



朝	3丁目交差点の渋滞により、手前の交差点も先詰まりにより渋滞発生
夕	直進2車線から直進1車線に車線数が減少する交差点に多くの帰宅車両等が集中するため混雑滞が発生

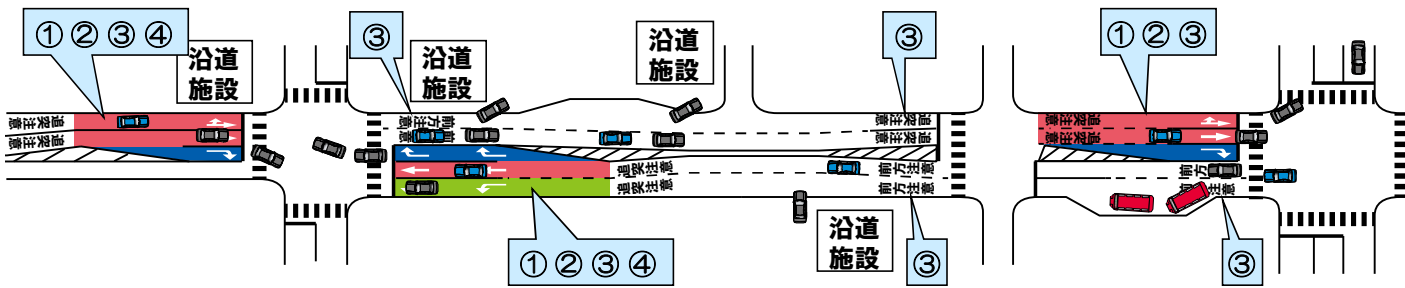
混雑時の3丁目交差点では、通過する交通量に対し**交差点の交通処理能力が不足!**

混雑による円滑性阻害

※朝夕ともに冬期間は特に顕著

■今後の対策のあり方

◆考えられる対策～安全性確保に向けた対策の内容～



①	すべり止め舗装 ⇒発進・停止時の制動性能の向上
②	カラー舗装 ⇒交差点部の明確化・注意喚起
③	路面標示(追突注意・前方注意)設置 ⇒注意喚起
④	右左折レーン、付加車線設置 ⇒回避スペースの確保 交通処理能力の確保



これら交通安全対策で、安全性確保はもちろん、混雑の改善にも寄与することが期待！

◆対策が必要な区間

音更大通(国道)整備により、
抜け道(町道)利用の交通が国道に転換すると予測
⇒整備により音更大通(国道)の交通量がさらに増加

交通事故の発生状況、円滑な交通処理の観点から、当面は少なくとも、

3丁目～12丁目区間で対策を進めることで、交通課題解消が期待！

■参加者からの主な意見

現状

- ・十勝大橋～3丁目交差点で車線が減少する区間において、混雑時は右折専用車線を直進する車を未だに見かける。
- ・右折レーンが短く、直進車線で待たないといけない事がある。

対策内容

- ・バス交通が多い路線のため安全性・円滑性の観点からバス交通を考慮した対策が必要である。
- ・今まで“車”の交通安全対策に着目していたが、歩行者に対する安全対策も必要である。
- ・路面標示や舗装の色分け等は、ドライバーへの注意喚起といった面で有効である。
- ・国道が混雑しているため、現在、周辺の裏道・脇道の利用が多いが、対策を行って国道の円滑性を確保できれば、国道を通行し裏道の利用者は自然と減ると思う。

対策範囲

- ・当面は課題の多い12丁目までの対策が早急に必要。
- ・最終的には、時間がかかっても16～17丁目までの対策が必要。



音更大通の『より利用しやすく安全な道に』の実現に向けた取り組みは、課題解決に向け「改善策の実施」「改善効果の検証」「課題の再確認」を積み重ね、今後も皆様との意見交換を継続していきます。

■ご意見・お問い合わせ先

【事務局】音更町建設水道部 都市計画課

北海道開発局帯広開発建設部 道路計画課

TEL:0155-42-2111

TEL:0155-24-4106